



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務経理部長 (氏名) 荻巣 知子 TEL 03-5363-4872  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,439	20.1	123	△31.7	120	△20.6	△20	—
2020年3月期第3四半期	2,861	18.1	180	△41.9	151	△49.7	61	△64.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △39百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 57百万円 (△64.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△3.44	—
2020年3月期第3四半期	10.38	10.25

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	5,145	1,207	23.1	197.11
2020年3月期	5,010	1,318	25.8	214.86

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,188百万円 2020年3月期 1,294百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年3月期	—	6.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	2.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	14.6	90	△55.2	80	△49.7	△200 ～ △50	—	△33.17 ～ △8.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,108,600株	2020年3月期	6,103,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	77,106株	2020年3月期	77,060株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	6,029,670株	2020年3月期3Q	5,933,892株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経済・社会活動が停滞したことにより急激な減速に転じました。経済活動の再開は段階的に進められつつありますが、感染の再拡大等もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは「ビジネスプラットフォームの創造へ～BUILDING A BETTER ADVANCE～」をビジョンとし、全事業の拡大・売上高の最大化に注力し、足元の業績を成長させてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,439,298千円（前年同期比20.1%増）、営業利益123,466千円（前年同期比31.7%減）、経常利益120,316千円（前年同期比20.6%減）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益70,183千円の計上があった一方、固定資産の減損損失161,768千円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失20,756千円（前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益61,589千円）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりです。

#### (デジタルPR事業)

デジタルPR事業は、企業や官公庁・団体等に対して、インフルエンサーPRサービス、新聞・雑誌・WEB・SNS等各種メディアの調査・報告サービス、製品やサービス・事業等に関するリリース配信サービスを運営しております。

当第3四半期連結累計期間において、インフルエンサーPRサービスは新型コロナウイルス感染拡大によるイベント・案件の中止・延期の影響があったものの、7月以降の需要回復もあり、案件数は大幅に増加（前年同期比42.7%増）いたしました。メディアクリッピングサービスの案件数は横ばい（前年同期比0.1%増）で推移した一方で、リリース配信サービスについては配信数が前年同期比53.7%増、利用者数が前年同期比35.3%増と、大きく拡大いたしました。

この結果、デジタルPR事業の売上高は1,770,609千円（前年同期比18.8%増）となり、セグメント利益は営業人員を増員したこと等により324,911千円（前年同期比25.3%減）となりました。

#### (シェアオフィス事業)

シェアオフィス事業は、アジア主要8都市（東京（新宿2拠点、六本木、青山、渋谷、新橋）、仙台、シンガポール、インドネシア（※）、インド、ベトナム、フィリピン、タイ）でシェアオフィスサービス、クラウド翻訳サービスを運営しております。

当第3四半期連結累計期間において、主要サービスであるシェアオフィスについては、昨年新規拠点を開設した効果もあり、国内拠点の累積稼働席数は大きく増加（前年同期比27.4%増）となりました。また、海外拠点の累積稼働席数についてはほぼ横ばい（前年同期比1.2%増）となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、一部の国においては事業環境が大きく悪化しております。このような状況下、回復時期の特定が極めて困難であることから、インド及びフィリピンにおける事業撤退を決定いたしました。

この結果、シェアオフィス事業の売上高（セグメント間売上高を除く）は1,668,688千円（前年同期比21.6%増）セグメント利益は110,913千円（前年同期は4,638千円の損失）となりました。

（※）インドネシアはフランチャイズによる運営です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は5,145,095千円と、前連結会計年度末に比べ134,157千円の増加となりました。資産の増加の主な原因は、使用权資産が255,474千円減少した一方で、差入保証金が422,893千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は3,937,103千円と、前連結会計年度末に比べ244,887千円の増加となりました。負債の増加の主な原因は、リース債務（流動負債を含む。）が256,222千円減少した一方で、短期借入金が143,000千円増加、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が114,621千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は1,207,991千円と、前連結会計年度末に比べ110,730千円の減少となりました。純資産の減少の主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上20,756千円及び配当金の支払75,356千円により、利益剰余金が96,113千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況と現時点で入手可能な情報をもとに、2020年5月22日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を変更いたしました。また、配当につきましても、2021年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を変更したことに伴い、2020年5月22日に公表いたしました期末配当予想を変更いたしました。詳細は本日公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	942,778	1,015,016
受取手形及び売掛金	264,803	348,958
その他	264,631	313,742
貸倒引当金	△4,721	△6,800
流動資産合計	1,467,491	1,670,917
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,555,710	1,484,792
工具、器具及び備品	428,590	455,386
使用権資産	873,555	618,081
その他	49,411	54,354
減価償却累計額	△917,229	△1,020,419
有形固定資産合計	1,990,038	1,592,194
無形固定資産		
のれん	189,238	157,461
ソフトウェア	183,742	158,619
その他	4,174	23,357
無形固定資産合計	377,155	339,438
投資その他の資産		
差入保証金	950,290	1,373,184
その他	274,203	198,045
貸倒引当金	△48,242	△28,685
投資その他の資産合計	1,176,251	1,542,544
固定資産合計	3,543,445	3,474,178
資産合計	5,010,937	5,145,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	143,000
1年内返済予定の長期借入金	322,112	324,150
未払金	234,393	318,222
未払法人税等	28,870	43,900
前受金	486,897	508,425
リース債務	215,657	169,050
その他	386,644	505,092
流動負債合計	1,674,575	2,011,842
固定負債		
長期借入金	1,120,641	1,233,223
資産除去債務	408,884	402,715
リース債務	420,909	211,294
その他	67,205	78,029
固定負債合計	2,017,640	1,925,261
負債合計	3,692,216	3,937,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	352,031	354,789
資本剰余金	291,797	294,556
利益剰余金	688,369	592,255
自己株式	△45,188	△45,245
株主資本合計	1,287,009	1,196,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,923	△59
為替換算調整勘定	5,815	△7,456
その他の包括利益累計額合計	7,739	△7,516
新株予約権	4,955	3,487
非支配株主持分	19,017	15,664
純資産合計	1,318,721	1,207,991
負債純資産合計	5,010,937	5,145,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,861,875	3,439,298
売上原価	1,569,999	1,851,039
売上総利益	1,291,876	1,588,259
販売費及び一般管理費	1,110,965	1,464,792
営業利益	180,911	123,466
営業外収益		
受取利息	1,556	1,431
受取配当金	—	938
受取手数料	779	605
リース解約益	—	22,169
その他	850	8,060
営業外収益合計	3,186	33,205
営業外費用		
支払利息	26,793	30,500
為替差損	1,169	1,041
その他	4,432	4,812
営業外費用合計	32,395	36,355
経常利益	151,701	120,316
特別利益		
投資有価証券売却益	—	70,183
新株予約権戻入益	3	647
特別利益合計	3	70,831
特別損失		
減損損失	19,627	161,768
貸倒引当金繰入額	—	13,167
特別損失合計	19,627	174,935
税金等調整前四半期純利益	132,077	16,212
法人税、住民税及び事業税	81,116	73,559
法人税等調整額	△7,181	△34,075
法人税等合計	73,934	39,484
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,142	△23,272
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,446	△2,515
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	61,589	△20,756

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,142	△23,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	△1,983
為替換算調整勘定	△781	△14,268
その他の包括利益合計	△823	△16,251
四半期包括利益	57,319	△39,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,796	△36,012
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,477	△3,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,490,060	1,371,814	2,861,875	—	2,861,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	863	863	△863	—
計	1,490,060	1,372,678	2,862,739	△863	2,861,875
セグメント利益又は損失 (△)	435,401	△4,638	430,762	△249,851	180,911

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,851千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて19,627千円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルPR事業	シェアオフィス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,770,609	1,668,688	3,439,298	—	3,439,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	693	693	△693	—
計	1,770,609	1,669,382	3,439,992	△693	3,439,298
セグメント利益	324,911	110,913	435,824	△312,358	123,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△312,358千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェアオフィス事業」セグメントにおいて118,496千円、「デジタルPR事業」セグメントにおいて14,508千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において28,763千円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては161,768千円あります。